



東京臨海ロータリークラブ 東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤 大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本 康朋

2021年8月25日

東京臨海 RC 【第1211回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第20回例会】

東京臨海RC

創 立：1994年8月8日
会 長：佐藤 大輔
副 会 長：杉浦 孝浩
幹 事：勝間田 健一
プログラム
構成委員長：田中 紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立：2020年12月18日
議 長：坂本 康朋
副 議 長：小松 啓祐
幹 事：勝間田 健一

8月25日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海 RC 会員 林 敦寿様
東京臨海北斗 RSC 会員 橋本 郁様

9月1日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海 RC 会員 山上卓也様
東京臨海 RC 会員 秋田将宏様

《2021年8月18日オンライン例会報告》

東京臨海 RC 第1210回
東京臨海北斗 RSC 第19回

司会：井上 SAA 委員長



- 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長
- ロータリーソング斉唱「それでこそロータリー」
：ソングリーダー：今井会員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC Ver. 唱和
：勝間田幹事
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長
ゲストスピーカー 米衛純二様
ゲストスピーカー 濱田信孝様



- ビジター紹介：岩楯会員
吉成大樹様（入会予定者・ZOOM参加）
- 会長報告：佐藤大輔会長
・緊急事態宣言が延長されましたので、9月1日、9月8日の例会をオンライン例会に変更いたします。
- 幹事報告：勝間田幹事
・8月定例理事役員会議事録を8月6日に会員皆様へメール送信いたしました。
- ・8月のロータリーレートは、1ドル=110円です。
- ・第2580地区主催「入会5~10年程度の方々に向けたワークショップ」は、9月9日（木）15:30-18:00、ZOOMで開催されます。東京臨海 RC 会員皆様へご案内しておりますが、本日が締切となっておりますので、参加希望の方はお申込みをお願いします。



- 委員会報告
・職業奉仕委員会（白井委員長）
自事業活性化委員会を9月30日（木）16:00-18:00 東武ホテルレバント東京にて開催いたします。出席の有無を9月1日までにお知らせくださるよう

お願い致します。

■出席状況報告：岩楯会員

東京臨海 RC

会員数：57名

出席：31名（例会場：14名 ZOOM：17名）

欠席：26名

出席率 57.41%

東京臨海北斗 RSC

会員数：23名

出席：9名（例会場：1名 ZOOM：8名）

欠席：14名

出席率 39.13%



■ニコニコ BOX 報告

ニコニコボックスの募金は、行いませんでした。

【0件 0円 今年度累計 193,000円】

■卓話

「イニシエーションスピーチ」

◆東京臨海RC会員 米衛純二様

こんにちは。

まずは、この場をお借りして伝統ある東京臨海ロータリークラブへの私の入会を認めて頂き感謝申し上げます。皆さまと力を合わせ、ロータリーの精神を実践して参りたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。また、このようなイニシエーションスピーチの場を頂き大変光栄に存じます。

私は1978年5月15日、父健次、母寿子の次男として東京都府中市で生まれました。皆さんは府中と聞いたとき、何を連想されるでしょうか？競馬場、刑務所もあります。私の中では、3億円事件の町というのがあります。私の実家は事件現場より徒歩3分、父も3度事情聴取を受けたそうです。劇場型犯罪でありながら完全犯罪を成し遂げ、未だにフィクション、ノンフィクションを問わず多くの作品で取り上げられています。私の自慢は、3億円事件の現場で生まれ育ったというのがあります。

私は未熟児で生まれ、慢性腎盂炎という病気になり入院・手術を受けるといった幼少期でした。慢性腎盂炎とは、体内の菌を排出できない病気で死に至ることもある病気です。そのような状況下でも、2つ上の兄の影響もあり、小学校1年生から野球を始めました。野球をしているときは自分が病気であることを忘れることができ、活躍することで両親も喜んでくれるので、夢中で白球を追いかけていました。

小学校6年生のときには東京代表に選ばれ、中学校では、硬式野球の府中ボーイズに入り3回全国大会へ出場しました。1年生の全国大会では、プロ野球横浜ベイスターズ・巨人で活躍した金城龍彦さんの大阪生野ボーイズと対戦し、コテンパンにやられました。その年は大阪生野ボーイズが全国制覇しました。当時の金城さんはピッチャーで4番、完封で1本塁打、今思い返すとセンスの違い、格の

違いを感じた瞬間でした。

高校はスポーツ推薦で世田谷学園へ進学しました。

柔道、空手が強い高校で今回の東京オリンピック柔道男子73キログラム級で金メダルを獲得した大野将平選手も遠い先輩となります。始発でグランドへ行き練習、日中は授業を受け(殆ど寝ていました)、学校が終わると終電まで練習の日々。今では考えられないですが、当時はスポコン全盛期だったので練習中は水が飲めないのは当たり前、下級生は何をするにも最後など色々なルールに捕らわれ高校生活を送りました。スポーツ推薦で入ったのだから勉強は免除になると思っていましたが、進学校はそれを許してくれません。「文武両道、勉強とスポーツの両方ができて初めて称えられる…」とのことでした。日々の練習で精一杯で、スポーツクラスの生徒は半数以上が赤点。赤点を取ると何と、頭髪を5厘にするルールが存在していました。5厘とは剃刀で剃った状態です。世田谷学園は元々、仏教系の学校なので、お寺の子供も多く、ボーズ頭は珍しくはありませんが5厘は目立ちます。と言うより通学時に一般の方の目が怖かったのを覚えています。周辺の学生からは少林寺と呼ばれていました。約2年半、5厘→3cm→5厘→3cmを繰り返しました。野球の成績としては、1年生夏からメンバー入りをし、3年夏まで一度も外れることはありませんでした。高校通算打率324、72本塁打。坂本会員のお兄様(帝京キャッチャー)とも公式戦であたり、惨敗でした。その年、帝京は甲子園で優勝して一番強かった年だと思います。そして3年生の夏が終わり、野球しかやってこなかった反動でとにかく遊んで、遊んで、遊び倒す日々が始まります。学校の出席もギリギリ、気付くと卒業が近づき、将来のことなど何も考えていませんでした。今が楽しければいいと思っていました。

最後に、現在の社業についてお伝えしたいと思います。

現在、3期目の総合ビルメンテナンスの会社となります。マンション、アパート、店舗、オフィスの日常清掃、定期清掃がメインとなります。日常清掃とは共有部や専有部の床清掃、ガラス清掃、トイレ清掃、ゴミ回収など巡回清掃をしています。定期清掃とは共有部、専有部の床面をポリッシャーという機械を使って洗浄をし、ワックスを塗って仕上げたり、カーペットをリンサー仕上げしたりしています。(リンサーとは洗浄と汚水回収を一度にする機械)。その他、ガ



ラスクリーニング、厨房クリーニング、チェアクリーニング、空調機フィルター清掃、年1回 or 2回のエアコン分解薬品洗浄など、清掃と名の付くことであれば一通り何でも対応可能です。クライアントとしては、日本交通グループ(タクシー会社)、自動車販売店(レクサス、ポルシェ、ジャガー)、森ビル(六本木ヒルズレジデンスB棟、D棟、イグノポール、

表参道ヒルズ)、株式会社ホットランド(築地銀だこ)などがあります。

コロナ禍で新規営業が難しいところではありますが、臨海ロータリークラブ会員の皆様からの仕事の依頼や紹介も増え大変助かっております。このような素晴らしいクラブを紹介してくれた伊藤会員には感謝しており、今後は伊藤会員が私にしてくれたことをまだ知らない方へと伝え、共に成長できる仲間、家族を増やし素晴らしいロータリーライフを過ごしたいと思っております。ご清聴ありがとうございました。



◆東京臨海北斗RSC会員 濱田信孝様

このようなインシエーションスピーチの場を頂き、大変光栄に存じます。私は、株式会社KSJ 営業部所属 係長を仰せつかっております濱田 信孝です。今年の1月4日で44歳になりました。家族は、妻と私二人で江戸川区西一之江に暮らしております。8年前に3LDK 新築を2980万円35年ローンで購入しまして、70歳を超えても支払う予定であります。

自分はインドア志向でパソコンいじりが趣味でして、プライベートで使用するパソコンは、すべて自作で作っております。ただし、プログラムは出来ません。過去に趣味が高じてパソコンショップに勤めた事もありましたが、趣味と仕事は一緒にしない方が良くもあるな、というのが感想です。理由はパソコンオタクが多く毎日その話ばかりで、辟易したのが正直な話です。他の趣味としては、今は手放してしまいましたがロードバイクに乗ることです。当時、埼玉県の上尾から、東京豊洲までの往復など、そこそこの距離を乗っておりました。機械に頼らず自分の脚力で自転車をこぎ、遠くまで出かけられるのがとても楽しかったのですが、東京へ引っ越してから地理も疎かったため、自転車は捨ててしまいました。ここ数年、運動不足が否めないため、近いうちにロードバイクを改めて購入して乗りたいと考えております。もし、ロードバイク乗りの方がいらっしゃいましたら、お声がけ頂ければ幸いです。



続いて、私の生い立ちをお話しさせていただきます。埼玉県の当時浦和市で生まれ、小学生に上がって間もなく当時の大宮市へ移り住むこととなりました。幼少期は自然あふれる見沼田んぼで育ち、カエルやザリガニを捕まえることに情熱を

燃やす少年でありました。そして中学生になり部活動が義務化されていたので、剣道に3年間励むこととなりました。

私が通っていた旧大宮市立第二東中学校剣道部は、当時は県大会常連の強豪校でありましたが、残念ながら剣道ニワカ勢の私は補欠止まりで応援席の常連でありました。中学3年生になる頃には、学業についていけず成績がみるみる落ちていき、具体的にはクラスで最下位、学年で下から五本指に入るほど、いわゆる落ちこぼれとなっております。進学相談の場で、私は公立高校の普通科を希望していたのですが、担任の教諭から「おまえは普通じゃないから、普通科は無理」と言われたことだけは鮮明に覚えております。確かに当時の自分の成績を考えると、その発言は無理もなく、恨んでいるという訳ではありません。あくまで記憶に残しているのは自分に対する戒めであります。結果として、公立高校は叶いませんでしたが、私立高校で私でも何とか狙える「普通科」の学校を担当教諭が何とか厳選し、そこに無事入学することが出来ました。高校生活では、私とそう変わらない学力の生徒が集まっているにも関わらず、学業はそれほど振るわず、中の下程度の学力しかない学生でした。しかし、当時の私は、父の影響で歴史小説が趣味であったおかげで、高校2年生からはじまった「世界史・日本史」の授業にこの趣味が活かされ、初めて勉強の楽しさを感じる事が出来ました。大学受験は考えていなかったのですが、急激に勉強にやる気が出たためか成績が向上し、担任教諭から大学への進学を進められることになり、おかげで無名ではありましたが、八王子の大学に入学して無事4年間で卒業することが出来ました。

大学を卒業した後、当時父が経営していた配電工事会社に入社致しました。父は、関電工という電力インフラ会社の下請け業者を経営しており、電柱に電線を架ける架空という作業や、地中に配電線を通す工事などを請け負っておりました。1990年代から東京電力は、さいたまの大宮駅周辺において、電線の地中化を推進しており、おかげで父の会社の業績は好調が続き、一時期は羽振りの良い生活をしていたことを覚えております。しかしながら、私が入社した5年後に経営の不振から手形の不渡りを2回出し、あえなく倒産、会社をたたむこととなりました。

間もなくして自宅には、絵に描いたような怖い方々が土足で上がり込んできて、対応するという事も何度か経験しました。この金融事故の解決はかなり先になるのですが、余談であるためここまでにさせていただきます。

その後の私は職を転々と変え、希望とは無縁の不安定な人生を過ごしておりました。パソコンやネットの趣味が高じて、2006年にインターネットの海外オークションサイトを利用して一儲けた私は、父にその資金を元に会社を作らないか?という誘いに乗り人生初の経営者となりました。元々、土木業界出の父は自分の会社をつぶしてからは、地元の土木会社に就職し、営業や施工管理を通じて営業先を着々と広げていたそうです。

そうして、建築工事にかかわる土工事、外構工事などをメインにした会社を設立しました。父が一時在籍していた土木会社でお付き合いの始まった、KSJの私の現上司から、汚染土壌のお仕事も頂けるようになり、私はここで汚染土壌対策のノウハウを得ることが出来ました。設立4年目には社員8名、売上4億の土工事会社となり、表向きには好調に見えましたが、実態は右も左も分からない素人経

営者が父の営業力のみにより頼りきった会社でありました。そして父が肺の病に伏してしまい、そこから急激に経営が不振に陥りました。間もなくして父が他界したことにより、事業が成り立たないと判断した私は、父の会社倒産というトラウマもあり、大きな傷を負う前に会社をたたむことを決定しました。その状況を当時、取引していた施工商社の部長さんにも相談していた際、その方が独立起業を考えていたという事もあり、負債がある会社にも関わらず、従業員を含めて会社を譲ってほしいという申し出を頂きまして、会社を引き受けて頂きました。この時は、大変ありがたい申し出であると感謝したと同時に、自分の能力のなさ、覚悟のなさ、情けない自分自身に惨めな気持ちを抱いておりました。そして、大変ありがたいことに、この会社は今でも当時の社員の方が在籍しつつ、過去の売上の2倍以上の業績を上げており、弊社ともお仕事もお付き合いさせて頂いております。誠に感謝の念に堪えません。

その後の私自身はというと、当時より取引のあった今の現上司にお誘いを頂き、KSJに入社することが出来まして、今に至っております。入社させて頂いた時に感じたことですが、過去に覚悟もなく何となく人生を過ごしていた私にとって、この会社の組織、業績、業務内容は何もかもが驚きに満ちておりました。自分の社会経験の薄っぺらさ、幼稚さを改めて実感したとともに、私の今までの「普通」ではない人生が、初めて「普通」になったと感じた瞬間でもありました。過去、自分に対して劣等感しか抱いていなかった私が、ここまで自分に自信が持てるまでに至ったのは、ひとえに今の会社、グループのおかげであったことは言うまでもありません。会社のために、グループのために役に立てる社員になる事こそが、自らの責務であり、お世話になった方々への恩返しと考え、自分の得意な分野の昇華もさることながら、関連する分野の開拓にも力を入れて日々精進しております。

さて、私が東京臨海北斗ロータリー衛星クラブの存在を知ったのは、入会のお話を頂いた去年の夏の終わり頃でありました。その時は、ロータリークラブの事前の知識もなく、正直不安ばかりを感じておりましたが、この機会を与えられた事自体が、自分にとって成長の場となること、そしてロータリークラブの奉仕に繋がることなのだと、今では理解しております。そして、何よりロータリークラブの皆様とこうして交流が持てること、ひいては奉仕活動に携われることを誇りに思っております。皆さまには、東京臨海北斗ロータリー衛星クラブへの入会を認めて頂いたことを感謝申し上げます。まだまだ人生経験の少ない若輩者ではありますが、皆さまと力を合わせ、ロータリークラブの精神を實踐して参りたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。本日は、このような恥を晒す話ばかりをしてしまいましたが、自分自身のありのままを話すことで、少しでも皆様に私を知って頂き、交流を持たせて頂きたい故の事とご承知頂ければ幸いです。

皆様、ご清聴誠にありがとうございました。



■ 点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



9月の例会と卓話予定

9月1日(水) オンライン例会

卓話「イニシエーションスピーチ」

東京臨海RC会員 山上卓也様

東京臨海RC会員 秋田将宏様

9月8日(水) オンライン例会

卓話「イニシエーションスピーチ」

東京臨海RC会員 菅澤卓也様

東京臨海北斗RSC会員 樋口義之様

9月13日(月) 移動例会は中止・休会

9月22日(水) 休会(祝日週)

9月29日(水) 例会

卓話「イニシエーションスピーチ」

東京臨海RC会員 山田政弘様

東京臨海北斗RSC会員 小林 誠様

(2021年8月24日現在)